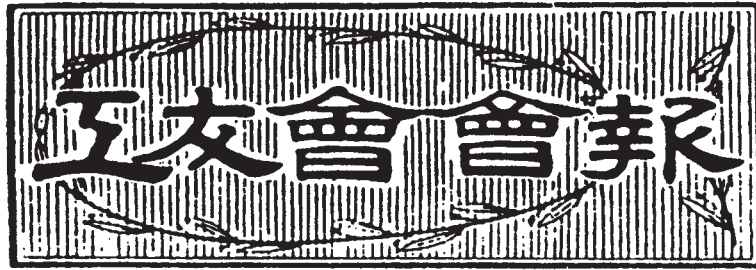


# 工友会会報

発行所  
 岡山県立岡山工業高等学校  
 工友会  
 〒700-0013  
 岡山市北区伊福町4丁目3番92号  
 編集責任者: 万波 学  
 和気紀子  
 印刷所: 株式会社サラト



ご意見、情報はこちらまで  
 TEL 086-252-5231  
 FAX 086-252-7130

## 異常気象に思う



工友会会長  
**山内 静 男**  
 (昭和36年土木科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年は、国内外を問わず異常気象?と思われる大きなニュースが様々な地域から飛び込んできました。秋には超大型台風30号がフィリピンを強襲し、死者が一人を超えた。ではと言われるなど、壊滅的被害が出ました。

わが国も、伊豆大島の土石流災害で、死者が38人も出てしまいました。日本へ接近した台風が多かったこと、10月上旬に22、23、24号が中旬には26、27、28号が接近し、台風の影響を受ける期間が長かったこと、記録的高温が続き、海水の温度が例年より高く前線が活発に発達したことなど、複合的な条件により大型台風となり、甚大な被害をもたらしたようです。

関東地方に竜巻が発生し多くの被害が発生したのも夏から秋にかけてでした。

東日本の大震災から3年を迎えますが、死者は1万5千人余、2千6百人余がいまだに行方不明で捜索中です。

地球規模で異常気象が続いており、何が起こるか想像もつきません。

日本国内のニュースでは、プロ野球で東北楽天が見事日本一となり、岡山出身の星野監督が9度宙に舞ったのは、たとえ楽天ファンではなくてもおめでとうと言いたい嬉しい出来事でした。

岡山市の新しいリーダーとして大森雅夫氏が7万6千票余を獲得し、他の4人の候補者を下して選出されました。新市長の岡山市の将来の舵取りに期待したいものです。

三浦雄一郎氏が世界最高峰に80歳にして登頂成功のニュースは、世界中がまたまたびっくり仰天と同時に拍手しました。70、75、80歳と三度も成功したその裏には、並々ならぬ努力がありました。心臓の手術を何度か克服し、リハビリを兼ねて毎日の散歩は、両足に鉛の重りを履き、リュックには20キロ

もの荷物を背負い毎日7、000歩もの距離を歩いて筋力をつけ《脳》を若返らせたそうです。

目標を持って努力することの大事さを教えられます。

岡工パワー爆発中: 自転車競技部は相変わらず強豪で、弓道部も、バスケットボール部も県大会優勝など、各部とも頑張っている様子は心強く思います。

昨年の工友会総会は、岡山市水道局支部のお世話で盛大に実施できました。今年は、三井造船支部さんのお世話をいただきますが、一年に一回の親睦を深め、情報の交換ができる有意義な総会・親睦会ですので、お誘いあわせの上大勢のご参加をお願いします。

景気が好転中といわれますが、長かった不況からの脱出は多少の時間が必要でしょう。しかし、春の来ない冬は無いの例えどおり、春はすぐそこまで来ています。

工友会員のますますのご健勝と、母校の発展を祈念しご挨拶とします。

### 工友会総会

平成 25 年 7 月 14 日  
 岡山プラザホテルにて



## ご挨拶



校長 克彦 高柳

日脚も少しずつ延び、寒さの中にも春の息吹が感じられるこの頃ですが、工友会会員の皆様方には、益々ご健勝でご活躍のことと心からお喜び申し上げますとともに、平素から母校教育活動の振興・充実に深いご理解と、物心両面にわたり多大なご支援・ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、本校は創立112周年を刻み、卒業生も2万9千名を超え、文字通り歴史と伝統を誇る工業高校としての歩みを進めております。確かな学力と技術・技能を備え、変化の激しい社会を生きぬくことのできる、心豊かな将来のスペシャリストを育成すべく教育活動に取り組んでおり、本誌面を拝借して、その一端をご報告いたします。

校舎は、平成24年度の建築科棟に続いて本館の耐震補強工事を行い、引き続き機械科棟の工事に入っております。今後、デザイン科棟等も順次工事を行い、平成27年度までには耐震化を終える予定です。

本年度から、新学習指導要領が年次進行で完全実施され、新しい教育内容に取り組んでおります。その中で、全生徒が社会貢献活動に取り組むことになっており、地域の清掃活動はもとより、工業技術を活かして、奉還町商店街で地元の子どもたちに約40年も親しまれてきた「みなしごハッチ」の遊具を修理して寄贈したり、高齢者宅に火災報知器を設置したり、公共施設や総合病院等で車いすの整備を行ったりするなどの活動も行いました。

部活動では、多くの生徒が熱心に活動し、県大会をはじめ、中国大会や全国大会等で好成績を残してくれました。ここでは紙面の都合で全国大会を中心に紹介させていただきます。

夏のインターハイ・全国大会・全国総文祭へは、弓道男子6名、自転車競技8名、陸上競技2名、ボクシング2名、少林寺拳法15名、水泳2名、写真1名が出場し、弓道男子が岡山勢過去最高の4位、自転車競技スプリントで土3野上君が優勝、チームスプリントで野上・機3滝本・土2田邊組が3位、女子500mタイムトライアルとケイリンで建3三宅さんが2位に入りました。東京国体へは、バスケットボール3名、自転車競技4名、陸上競技2名、ボクシング1名、水泳1名が出場し、自転車競技スプリントで野上君が優勝、1000mタイムトライアルで滝本君が優勝、チームスプリントでOBの奥村・野上・滝本組が3位になるなど大活躍

でした。

自転車競技のジュニアトラック世界選手権（イギリス・グラスゴー）では、日本代表チームの一員として野上君と滝本君が出場して8位に食い込みました。ジュニアオリンピックカップでは、女子個人パーシユートと500mタイムトライアルで三宅さんが2冠、1000mタイムトライアルとスプリントで野上君も2冠を獲得しました。全国都道府県対抗では、スプリントで野上君が優勝、1000mタイムトライアルで滝本君が優勝、女子ポイントレースで三宅さんが優勝、チームスプリントで野上・滝本・田邊組が2位、そして岡山県が総合優勝しました。日韓対抗学生女子スプリントで三宅さんが優勝しました。

全国選抜大会へは、弓道部・少林寺拳法部・バスケットボール部、弓道個人では電2瀬川君が出場しました。文化系では、岡山県高等学校写真展で、デ3加藤さんの作品が最優秀賞に輝きました。

ものづくりの分野では、ものづくりコンテスト県大会において、電気工事部門で電3廣政君、旋盤作業部門で機3岡本君、化学分析部門で化3坂田君が1位となり、中国大会でも化学分析部門で坂田君が1位、加藤君が2位となって、坂田君は全国大会に出場しました。機械製図検定では、機械科2年の成貞君と安本さんが特別表彰（全国で6名）を受賞しました。建築系部会

設計製図競技会では、建3青山君が最優秀賞を受賞しました。また、中国地区測量技術競技会平板測量の部では、土1の景山君と藤元君のチームが1位になりました。

資格取得や検定にも積極的に取り組み、特に平成23年度から重点的に取得を勧めている技能検定では、大幅に取得者が増加し、200名近い生徒が取得するようになりました。

この他、生徒たちは「誠実勤勉」の校訓の下、この紙面では紹介しきれないほど「ものづくり」「資格取得」「部活動」で活躍をしてくれています。その様子はHPでも随時お知らせいたしますので、ご覧いただければ幸いです。

結びにあたり、工友会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



# 工友会総会を終えて

岡山市水道局支部 会長 熊代 浩二(昭和四十七年土木科卒)

朝の寒さは身にしみるものの、日だまりの暖かさには春の到来を感じるころとなりましたが、工友会会員の皆様には、ますますご健勝にて、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平成二十五年度工友会総会及び懇親会を平成二十五年七月十四日(日)岡山プラザホテルにおいて、当支部の担当により開催させていただきました。

連日猛暑日の続く中、百八十名を超える会員様のご出席をいただき盛会に開催することができましたことを、お礼申し上げます。

さて、岡山市の水道は、明治三十八年に給水を開始して以来、百七年の長きにわたり、岡山市民の方々に二十四時間、三百六十五日、安全・安心・安定して水を送り続けるよう努めております。

また、わが岡山市は、温暖で災害の少ない地域といわれてきましたが、近い将来予測されております南海トラフ大地震に備えて、水道管路の耐震化事業を進めるため市内の彼方此方で道路を掘り返していると思えます。

これは、将来に向けて強靱な水道づくりを行っているものであり、このことを会員の皆様にもご理解いただき、更には在校生の方々には、ぜひ強靱な水道造りの一翼を担っていただければと思いま

す。

最後になりましたが、学校事務局の先生方、各支部、「あじさいの会」の皆様方、プラザホテルの皆様方など多くの皆様のご協力により、総会・懇親会を滞りなく終わらせることができ、担当支部を代表して厚くお礼申し上げます。

今後とも工友会のみましますの発展と会員皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、総会の報告とさせていただきます。



## 平成26年度

# 工友会総会に向けて

三井造船玉野支部 支部長 小西 玉男(昭和47年機械科卒)

厳しい冬の寒さも和らぎ、春の気配が感じられる季節となりました。

工友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、平成26年度工友会総会のお世話を三井造船玉野支部で担当させていただきましたことになりました。私も前回の総会をお世話させていただいたのは平成16年であり、かれこれ10年の歳月が経っております。支部会員も多くの団塊世代の方々が現役から次々と退かれ若い世代へと交代をして行き、また、過去の造船不況の影響から40代から50代の会員がほとんど在籍していないという空白世代が存在しています。

そのため、前回総会の経験者はほとんど残っており、今回は、そのわずかな経験者の知恵を借りて新しいメンバーによる取り組みとなります。若い人を中心に準備会を立ち上げて新たな試みや工夫も加えるなど、関係者のご協力を得ながら皆様の交流をご支援させていただきたく支部全員でもてなしの準備を進めて参ります。

会員の皆様におかれましては、個人参加はもちろんのこと、親睦会やクラス会などへのご利用もご考慮いただくなど、多くの方々をお誘い合わせのご参加をお待ちいたしております。

なお、工友会総会は、平成26年7月13日(第2日曜日)に例年のおり岡山プラザホテルで開催を予定しております。

最後になりますが、これからも工友会並びに母校の発展と会員皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、簡単ではありますが総会に向けたご挨拶とさせていただきます。



## 支部だより

### ● 関東支部 ●

事務局長  
**大原 宏光**  
(昭和34年機械科卒)

工友会関東支部総会・懇親会をH25年4月21日（日）開催しました。岡山より高柳校長、山内工友会会長、万波事務局長にご多忙の中お越し頂きました。会場は例年どおり眺望のよい銀座アスター御茶の水賓館で支部会員33名の出席のもと開催しました。

総会は、今吉副支部長の司会で次第に従い高森精二支部長（26機）の冒頭の挨拶に続き、来賓山内工友会会長、高柳校長、万波工友会本部事務局長からご挨拶を頂きました。議事は、大原事務局長の24年度の会務及び会計報告、土井征興監査の報告が承認されました。25年度案件では名誉会員の1名新任の件、予算の件なども原案通り承認されました。

総会後の懇親会は、記念撮影、大熊秋治新名誉会員（24機）による乾杯の音頭で始めました。ご来賓の方からは母校の状況や懐かしい郷里岡山のお話を伺いました。今年のお席者の顔ぶれですが昨年の出席者13名が残念ながら欠席となりましたが、それ以上の新しい方の出席が得られ盛会となりました。昭和17年機械卒

の岸経雄先輩が元気なお姿で見えられ、若手では平成23年卒の大学生が、また過去に例の無い女性5名もの出席があり、さらに遠路日立や群馬からの方も加わり幅広い交流が終始和やかな雰囲気の中で行われました。全員が近況スピーチするなど語り合う内にあつという間に時間が過ぎてしまいました。最後に母校校歌をみんなで斉唱し、再会を期して散会した次第です。



銀座アスター 御茶の水賓館

関東支部傘下には趣味の集い横浜クラブ（会長森寛さん（29土））もあります。山歩き、囲碁、落語を楽しむ会などの行事がもたれています。

今後支部運営では改善を図りながらより活性化を目指したいと思っていますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

ます。  
なお平成26年度関東支部総会は4月20日（日）を予定しています。多くの参加を願っています。



### ● 大阪支部 ●

(岡友会)  
事務局長  
**高橋 紀二**  
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝でご活躍のことお慶び申し上げます。

第33回岡友会（工友会大阪支部）総会の開催を平成25年10月26日（土）12時より大阪梅田「がんこ曾根崎本店」にて予定致しておりましたが、ご承知のように超大型の台風27号が当日の9時頃に関西に来襲するとの予測報道により、安全を考慮して残念ながら10月26日は取り敢えず「中止」と致しました。

その後、会長・副会長を交え時期設定、久しぶりに再会する楽しみ、会員の都合、会場の都合等を種々検討致しましたが、残念ながら今年度の開催については取りやめることを決定致しました。岡友会会員には事情ご賢察を願う次第です。（紙面をお借りして報告致します。）

他方、関西方面に「岡山県」をより認知してもらおうということで岡山県が岡山県大阪事務所を大阪市内に設置しています。そこでは、岡山県が郷里岡山の観光・諸

物産の案内、企業誘致、在阪岡山県人の交流を考えて各種の催事を行っています。

この岡山県大阪事務所が2年に1回、岡山県の大学・高校出身者が関西方面で組織する各「同窓会」の支部長を招集して「情報交換会」を開催しています。

当岡友会も参加して同窓会運営の諸情報を手入しています。参加された方々は各職域でご活躍されておられますが、自分の出身校への愛着心は強く「同窓会」の運営に努力をされていることが窺えました。

乏しい内容の報告になりましたが、平成25年度の支部報告と致します。



### ● 広島支部 ●

支部長  
**服部 芳弘**  
(昭和29年土木科卒)

工友会の皆様には、ご健勝にてご活躍のことお慶び申し上げます。

広島支部におきましては、平成25年度工友会広島支部総会を六月一日（土）午前十一時より「ホテルセンチュリー21広島」にて開催いたしました。支部総会には山内工友会会長、母校より高柳校長、万波事務局長のご臨席を賜り支部会員10名が出席しました。

支部総会では、ご来臨の皆様から工友会本部の活動状況、母校の生徒の活躍や

近況報告等のお言葉を頂きました。

支部総会議事に入り平成二十四年度の事業報告と会計収支報告及び会計監査報告が行われ、承認されました。次に、平成二十五年度の事業計画と予算計画の審議を行い、全員一致で承認されました。

その後、記念撮影、懇親会に移りました。服部芳弘支部長による乾杯の音頭で始まり、高校時代のエピソード等々親睦を深め終始なごやかな時間を過ごし、来年の再開を約し閉会いたしました。



ホテルセンチュリー 21 広島

その他の支部行事としては、新年親睦会を二月一日に「ホテルセンチュリー21広島」で開催し十二名が参加、夏季親睦会を八月一日に「ホテルグランヴィア広島屋上ビアガーデン」で開催し十名が参加いたしました。ゴルフ仲間の「岡広会」は、四月から十二月まで毎月第二木曜日に集まり親睦を図っております。また、工友会会報をご覧の特に若い支部会員の皆様には、各行事へご参加し

て頂けるようこの場をお借りしてお願いいたします。

最後に、工友会の皆様のご健勝と母校のご繁栄をお祈り申し上げまして、広島支部だよりといたします。



**女性支部**  
(あじさいの会)  
支部長  
**鳥越 隼**  
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

女性支部(あじさいの会)は第二十五回総会を、平成二十五年六月九日、岡山駅前みよしのにて、母校より万波先生のご臨席を賜り開催いたしました。総会では、平成二十四年度事業報告および会計報告などが討議、承認されました。役員の変更は、全員の留任が拍手で承認されました。続いての懇親会は、自己紹介・近況報告など大いに盛り上がり、笑いの絶えない楽しいお交わりを堪能しました。支部会報第七号を十月一日発行。本号では特集として、昭和三十九年工業デザイン科卒で民族学者の神崎宣武さんへのインタビュー記事「あるく、みる、きく」を掲載出来ました。神崎さんは東奔西走のご活躍で、倉敷での「備中志塾」、美星町の「中世夢が原大神楽」、伊勢神宮のおかげ座「神話の館」の開館などご多忙の

中を、取材の時間をお作り下さいました。お話は岡工時代のこと、ご研究のことなど多岐に亘りますが、岡工卒業生に対してのご提言をお願いしたところ、昭和の高度成長期の前を知っている人たち、もうひと働きしないといけません。戦後の日本は二者択一『YESかNO』かになってしまった。例えばパソコンでメールが出来ると、手紙を書かなくなったなど、デジタル化される前のアナログの時代のことを後世に残さないと。それは、我々が動ける範囲での使命だと思います。と示唆に富んだお話を頂きました。

この特集は、東京在住の支部会員宮田昭子さん(昭和四十三年工業デザイン科卒)の企画とご尽力により実現したものです。同じ学校という絆があればこそこのことと思います。

十一月九日の岡工祭での卒業生作品展は、多くの方々に鑑賞頂きましたが、年々ご出品が減り、継続が危ぶまれております。今秋の岡工祭のために、工友会の皆様のご協力を衷心よりお願い申し上げます。



岡山駅前みよしの

**叙勲受章者**

長年のご功績に対する栄えあるご受勲、心よりお祝い申し上げます。

平成24年度秋の叙勲

瑞宝単光章 江口 えぐち

岸夫 きしお 工業化学科33年卒

平成25年度春の叙勲

瑞宝双光章 小池 こいけ

正紀 まさみち 土木科34年卒

瑞宝単光章 高木 たかぎ

嘉人 よしと 電気科41年卒

瑞宝単光章 田邊 たなべ

裕司 ひろし 土木科30年卒

## 平成26年度工友会総会の案内

担当支部 三井造船玉野支部

支部長 小西 玉男

日時 平成26年7月13日(日)10時より

場所 岡山プラザホテル

電話 086-272-1201



## 「工友会会報協力金」 ご協力のお願い

早春の候、工友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

工友会会報第55号が出来上がりましたので、お届けいたします。

平成18年度より、全ての会員の皆様に送付させていただいており、母校の現在の様子をお知り置きいただくと共に、会報が工友会の更なる活性化と皆様方の交流の場として役立つことを祈っております。

さて、工友会会報の発行をはじめとする本会の事業は、皆様方からの賛助会費や協力金によって成り立っております。これからも全員の皆様に工友会会報をお届けし、内容を充実させるためには、皆様方の温かいご支援とご協力が不可欠であり、ご厚志を賜りたくお願いする次第でございます。

つきましては、何卒趣旨をご賢察の上、同封の振込用紙にて「工友会会報発行協力金」(2,000円)の振込みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

岡山県立岡山工業高等学校工友会会長 山内静男

## 工友会会報決算報告

### 平成25年度

発送数.....17,638件

入金件数.....1,071件

入金額.....2,302,120円

※会報発送事業も8年目を迎えています。皆様の温かいご支援で、この事業に関わるすべての経費をまかなうようにしています。今後も、会報協力金のご協力をお願いします。

工友会事務局

# 日本ドクターヘリの始まり

## 義若 基 (昭和二十年機械科卒)

七十有余年の昔、玉野市渋川海岸で、真っ黒に日焼けして遊んでいた岡工・機械科の悪ガキが米寿記念に本文の寄稿を思い付きました。ご笑覧を。

日本のドクターヘリは平成二十五・二〇一三年五月、総数四十一機が運航されている。その黎明期、一九八〇年代初頭からBK 117 EMSヘリコプタ (Emergency Medical Service Helicopter) を持って斯界に参画した義若(元) エアリーフト社長は、「公明党無かりせば、日本ドクターヘリの今日の発展は無かった」と大なる賛辞を贈る。日本ドクターヘリは平成八・一九九六年消防庁に「ヘリによる救急システム検討委員会」発足、平成十一・一九九九年岡山県川崎医大と神奈川県東海大学で「ドクターヘリ試行的事業開始」に始まったとある。しかし、《これより十二年前、昭和六十二・一九八七年十月一日より一ヶ月間、日本最初のドクターヘリ実用化運航が、川崎医科大学付属病院・救急救命センターを主基地とし、岡山香川両県をカバーして実施され、また第三次ドクターヘリ実用化試験運航が、平成四・一九九二年七月一日から六ヶ月間、同救急救命センターを中心に展開され、何れも大成功に終わった》ことを知る人は、小濱川崎医大名誉教授と筆者義若の二人になつてしまつた。

### 川崎重工(株)、ドクターヘリへの取組み

一九八〇年代初頭、全国山村振興連盟・国土庁地方振興局・自治省消防庁・日本交通科学協議会等の諸機関が、山村離島など遠隔僻地の医療サービスの向上、高速道路上の自動車事故の緊急救助を目指して、今で言うドクターヘリ、即ち救急医・看護師がヘリコプタに搭乗して救急サイトへ出動するEMSヘリコプタ運航の実現に向かつての調査研究を開始した。

川重は、昭和五十二・一九七七年、西独ミュンヘンにあるMBB社と、BK 117ヘリコプタの共同開発に着手した。ミュンヘンは世界ドクターヘリ発祥の地、BK 117ヘリコプタは開発当初からEMSへの最適化を狙って設計された。

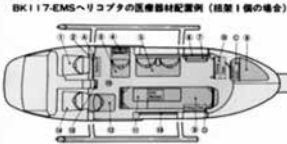
### ●BK 117ドクターヘリ(EMSヘリ)機の開発

昭和五十八・一九八三年八月、川重BK 117プログラムのマネジャーに就任した義若川重岐阜工場長は、BK 117の用途開発として最初にEMSヘリコプタを取り上げ、江崎通彦業務部主幹(後にPhd、DTCN Design to Customer Needsの創業者)に調査研究を指示した。

### ☆日本最初のEMSヘリコプタBK 117

昭和六十一・一九八六年、川重ヘリコプタ設計部は、榎本倅博士(川重岐阜工場診療所長・元航空自衛隊岐阜基地病院長)と江崎主幹の主導の下、日本最初のドクター

ヘリBK 117 EMSヘリコプタ(JA 九六二二号機)を開発製造し、川重の子会社、ヘリ運航会社エアリーフト社(ALK)へ納入した。



BK 117 EMSヘリコプタの医療器材配置例(搭載1機の場合)

### ALKドクターヘリ実用化運航

昭和六十二・一九八七年八月、義若ALK社長の所へ、「川崎医科大学救急救命センターでの、日本最初のドクターヘリ実用化運航に、社用BK 117 EMS機で参加」の声が掛かってきた。

### ●第一次EMSの本格的実験運航であった。

(社)日本交通科学協議会「航空機による救急システム研究会」主催・研究委員長・富永誠美交通科学協議会副会長、現地実行責任委員・小濱啓次川崎医大教授で計画された。

ALKは、社用BK 117ヘリコプタをEMS運航することとなった。岡山県は我が故郷、「故郷へ錦を飾る」気持ちでチャレンジした。ALK社員も非常に積極的にあった。

僅か二週間で、川崎医大を中心とする半

径七〇kmの範囲内に三十二ヶ所の臨時ヘリポートを調査し、大阪航空局に申請し許可を取得した。



第一次EMS実験運航は大成功で、全国新聞テレビで大々的に報道された。日本ドクターヘリ実用化への開幕であった。ところが、何があったのか、後が続かなかった。第二次実験運航が東海大学病院救急救命センターで四年後に、第三次運航が再度、川崎医大で実施されたのは五年後のことであつた。

### 第三次ドクターヘリ実験運航の計画が立

ち上がったのは五年後の平成四・一九九二年、今度は愈々六ヶ月間の運航である。喜び勇んで小濱教授を表彰した。

ドクターヘリの運航には、地方自治体、消防の支援協力が不可欠、ところが消防は「二ヶ月間は支援するがそれ以後は知らない、勝手に遣れ」とのムード、裏には開業医、医師会が、救急医療のシステム体系を乱すとの思惑があつたらしい。川崎医大第一代理事長も実施にリラクト。

第一次とは違って、小濱教授は第三次EMS実験運航を逆境の中で遂行された。岡

山県庁には筆者義若のガキ友達二〜三人が然るべき地位を占めていた。岡山県消防防災課長への紹介状も持っていた。小濱教授は筆者に県庁訪問を注意されたが、筆者は敢えて岡山県庁を訪問した。

六ヶ月間の第三次ドクターヘリ(EMS)実験運航も無事大成功に終わった。打上げの飲み会で、女性看護師から「ALKと一緒にドクターヘリの発展に貢献したいのでALKで雇ってほしい」と涙を流してねだられた程であった。

●日本ドクターヘリ草創期において、実用研究として実施されたヘリ運航は、第一〜第三次迄の計三回、全て交通科学協議会主催。義若はALK社長として、三ケース共にBK一七・JA九六二二号EMS機をもって、ヘリ運航を担当した。

☆岡山県・川崎医科大学付属病院・救命センター(第一次)：前記通り、昭和六十二〜九八七年十月一日から一ヶ月間、三十三回出動、患者輸送三十二名。BK一七EMSヘリ運航・ALK。

☆岡山県・川崎医科大学付属病院救命センター(第三次)：平成四・一九九二年七月一日より六ヶ月間、岡山・香川・広島県東部に臨時ヘリポート六十四ヶ所、出動回数九十一回、輸送患者九〇名。BK一七EMSヘリ運航・カワサキ・ヘリコプタ・システム社(ALK社名変更)。

終わりに

平成二十五・二〇一三年四月、インターネットに拙文「日本ドクターヘリの草創」

を流し、岡山県倉敷市の川崎医科大学付属病院・救命センターが「日本ドクターヘリ発祥の地」、この地へドクターヘリを導入されたのは偉大なる先覚者・川崎裕宣・川崎医科大学初代理事長であることを証言宣言し、併せて、「ドクターヘリ発祥」に係わる論壇の乱れを是正したと独り満足していた。



平成二十五年八月一日、セントラルヘリコプタサービス(株)・川崎重工(株)両社が、同ヘリポートに「ドクターヘリ発祥地」の記念碑(縦六〇×横一〇〇×奥行き四十五センチ)を寄贈建立したとの山陽新聞を効友達が送付してくれた。既に八十六歳の筆者、おそらく最後の機会と同年十二月七日、当該ヘリポート訪問、右写真を撮った。

(完)

サイピアで「岡工ものづくり体験デー」が開催されました

5月4日(土)みどりの日、岡山市北区伊島町の「人と科学の未来館サイピア」で「岡工ものづくり体験デー」が行われ、7つの専門科から多くの生徒が参加して、小学生に作業の指導を行いました。

会場の各ブースでは、指導役の岡工生の説明を聞きながら、親子で楽しそうに作業に組んでいました。真剣な表情で住宅模型の部品を接着する女の子、思わず熱くなって子ども以上に張り切ってしまうお父さん、膝を床について小さい子の目線で話しかける岡工生など、とてもほほえましい光景があちこちで見られました。作品が完成すると、どの小学生もうれしそうな笑顔を見せ、自分の作品を大切に持ち帰っていました。

- 機械科 表札を作ろう
- 土木科 スーパーエンバイロメント事業等の取組
- 化学工学科 化学の楽しさに触れよう
- デザイン科 キャンドルを作ろう
- 建築科 2階建て住宅模型を作ろう
- 情報技術科 ロボットカーで楽しもう
- 電気科 電子オルゴールを作ろう





# 平成25年 校内行事

## 工友会入会式 卒業式

第64回卒業証書授与式を挙行了しました。  
吹奏楽部がエルガーの「威風堂々」を演奏する中、担任の先導で3年生318名が入場、定刻の10時に式が始まりました。



体育館

式辞で、高柳校長は、「『風雪にあわざれば春を見ず』、苦勞を乗り越えて皆さんは卒業の日を迎えました。日本にも世界にも難問は山積みしており、皆さんの新生活は必ずしも容易ではないかもしれませぬ。しかし、卒業は同時に新たなスタートでもあります。『誠実勤勉』の教えを胸に、世界的な視野を持ち、岡工で学んだ

専門性を深め、自分を信じて夢の実現に頑張ってください。」とエールを送りました。

## 4月 入学式

4月9日(火)、平成25年度入学式が行われ、新入生320名が岡工の1員に加わりました。



## 進路校外学習

それぞれの専門科が、関わりの深い事業所や工事現場などを訪れて、仕事の内容や仕事に対しての心がまえを聞き、実際の作業の様子を見学しました。また、美術館などを訪問して、専門的な知識を



校長先生の挨拶

深める学習を行った専門科もありました。

### クラス別 行き先一覧

クラス	主な目的地
機2A	JFEスチール、滝沢鉄工所
機2B	JFEスチール、滝沢鉄工所
土2	高松市福岡ポンプ場工事、高松道路管理センター
化2	日本合成化学、JFEスチール
テ2	成羽美術館、吹屋ふるさと村
建2	UG技研工事現場(牛器)、大島精錬所美術館
情2	神戸電子専門学校、理化学研究所
電2	広島中央サイエンスパーク(JICA中国、Iテルキア)
機3A	ナカシマプロペラ・中国職業能力開発大学校
機3B	ナカシマプロペラ・中国職業能力開発大学校
土3	日生大橋建設工事、ブルーライン/法面工事
化3	カネカ高砂工業所、ダイセル姫路製造所網干工場
テ3	成羽美術館、吹屋ふるさと村
建3	倉敷市立美術館、倉敷市立図書館
情3	グローリー、関西電力姫路第一発電所
電3	三菱電機姫路製作所・赤穂製作所



デザイン科2・3年生 成羽美術館

## 宿泊研修 (1年生)

4月25日(木)、1年生320名が玉野スポーツセンターでの宿泊研修に、元氣よく出発しました。1泊2日の日程で、各種講話、交通安全についての学習、ク

## 5月 球技大会

絶好の五月晴れとなった5月8日(水)、生徒会主催による球技大会が開催されました。



ラスでの話し合いや、クラス対抗の校歌合唱、綱引き、長縄飛び大会など盛りだくさんの研修が行われました。

6月 発輝祭

6月10日（月）から21日（金）までの2週間、発輝祭（はつきさい、小文化祭）が開催されました。



写真部 ▲



1号館・階段の展示 ▶



美術部



書道同好会

卒業生を囲む会

6月12日（水）6校時のLHRの時間に、卒業生を招いてお話を聞く「卒業生を囲む会」が、専門科ごとに開催されました。就職をして社会人になっている先輩、進学をして勉強を続けている先輩、どの先輩のお話も、在校生が進路選びをするときに、とても参考になるお話でした。

デザイン科



7月 オープンスクール

7月31日（水）、8月1日（木）、平成25年度オープンスクールが行われました。午前9時からの開会行事の後、それぞれ希望の専門科に分かれて見学をしました。

蒸し暑い中でしたが、参加した中学生の皆さんは熱心に説明を聞き、実習風景や設備等を見学していました。2日間の参加者は、中学生約820名、保護者約130名でした。



10月 第64回体育祭

10月3日（木）、第64回体育祭を開催しました。時折薄日が差し、爽やかな風がグラウンドを吹き抜ける、絶好の体育祭日和となりました。今回の体育祭のテーマは、建築科2年 湯川拓也君による「炎天夏く燃えろ熱きこの魂」でした。



- 競技の部 1位 電気科2年
- 応援・行進の部 1位 電気科
- デコレーションパネルの部 1位 デザイン科



創立記念式典

10月7日（月）15時より、創立記念式典を開催しました。

高柳校長先生は式辞で、諸先輩方の活躍や、校訓の「誠実・勤勉」の大切さについてお話され、「一人ひとり個性があり、目指すものも異なります。それぞれの日本一を目指し、岡工生としての誇りを持って日々過ごしていきましょう」と呼びかけました。



# 修学旅行2013



富士山五合目



マウンテンバイク

## □関東(東京・富士山)

10月15日(火)	岡山駅→静岡→アウトドアスポーツ→ホテル
16日(水)	ホテル→富士急ハイランド→富士山5合目→ホテル
17日(木)	ホテル→自主研修(都内)→ホテル
18日(金)	ホテル→浅草散策→東京駅→岡山駅



ディズニーシー



鎌倉

## □関東(東京・横浜)

10月15日(火)	岡山駅→新横浜→鎌倉→横浜中華街→ホテル
16日(水)	ホテル→東京スカイツリー→自主研修→ホテル
17日(木)	ホテル→自主研修(都内)→ホテル
18日(金)	ホテル→浅草散策→東京駅→岡山駅

## □沖縄

10月15日(火)	学校→高松空港→那覇空港→ひめゆりの塔・平和記念公園→ホテル
16日(水)	ホテル→美ら海水族館→パイナップルパーク→ホテル
17日(木)	ホテル→万座毛→国際通り自主研修→ホテル
18日(金)	ホテル→首里城→おきなわワールド→那覇空港→高松空港→学校



**部活動オープンスクール**  
10月26日(土)の午前中、部活動オープンスクールを開催しました。



首里城



美ら海水族館



ビーチ散策



台風27号と28号の接近に、果たして開催できるのかと心配でしたが、幸いにも天候が回復し、予定どおり実施することができました。

11月 第64回岡工祭



11月8日（金）、9日（土）の2日間、第64回岡工祭が開催されました。

今年のテーマは、「岡工を受け継ぐもの（夢）」。このテーマの下、各クラス、部・同好会、委員会等の団体が、展示・体育館発表、模擬店の3部門で日ごろの成果を発表しました。



最優秀賞

- クラス展示部門 機械科2年B組 蘇れ!!俺たちの大和
- 体育館発表部門 情報技術科2年 情2 みんなでポンポン☆
- 模擬店部門 機械科3年B組 激もちっしらたまいどスイーツ ~とろけるチョコ&きなこ抹茶~
- デザイン科3年 飯処 でざいん
- 部・同好会・委員会展示部門 保健委員会 Eating life ~私の理想の食生活!! ~

思い出す



デザイン科 榎原 靖 先生  
元 デザイン科 科長  
現 倉敷市立工業高等学校 校長

私は岡工にデザイン科教員として在職中、平成三（一九九一）年度には創立九十年、平成十三（二〇〇一）年度には創立百周年の大きな節目に巡り合うことになりました。そして、それぞれの周年行事でまとめられた、記念誌や回顧展で岡工の崇高な教育理念と偉大さに触れたことを思い出します。

明治三十四（一九〇一）年十月十一日の山陽新聞に掲載された、岡工初代飯河校長が創立式典に臨まれた記事や、昭和二十六（一九五二）年創立五十周年の「どんな小さな部品でも、その一部に不完全な所があれば、その機械は機械としての価値がありません。Every details must be perfect. 100% is perfect. とのこと」は、本校教育の全般を貫く方針でございませう。という吉田三郎校長の式辞。さらには岡工デザイン科の源流である岡山工芸学校の開校は、大正三（一九一四）年ですが、これは大正八（一九一九）年にスタートを切った世界の近代デザインの源流とされるパウハウス（独にできた実験

的デザイン学校）に五年も先駆けてのこと知り、自分自身が、どれほど誇りある流れに身を置いているかを知った時は、まさに身の引き締まる思いがしたものでした。

平成五（一九九三）年から、創立百周年行事の足掛かりとして、「岡工シンボルタワー」を製作することになり、生徒・教職員による委員会が発足し、私もその委員会の一員に加わりました。まずは岡工生みんなで①自分達の岡工とは？②これからの二点を踏まえ「岡工のキーワードを探る」と題して全校で作文集を作り、全校生の思いを五つの文章にまとめました。（シンボルタワー銘板参照）その内容の概略は、「伝統にあぐらをかかず、夢を持ち、人を思いやる心を大切に、ものづくりの喜びを感じ合い、団結して大きな力を生みだし、それぞれの個性を大事にし合わせる、そんな舞台（岡工）を築こう」というものでした。この思いをコンセプトに、各科のそれぞれの専門を生かし施工・制作し、平成八（一九九六）年に完成除幕式が行われたことを懐かしく思い出します。

また、平成二十三（二〇一一）年には百周年記念事業の一つとして、十数年を経たシンボルタワーの整備作業に取り組んでいただいたことは、岡工が単にものづくり、技術技能の伝承の場のみならず、多くの人の、多くの思いを繋ぐ場であることに改めて感じ、とても嬉しく思いました。

の「デザインは公共のために」という講演がありました。公共のためのものづくりとは利用者には笑い顔を生むものづくりの追求であり、その為には人の思いに寄り添うことが大切ということをお話をしました。

岡工が、これからも崇高な教育理念のもと、人を思う思いが脈々と受け継がれてゆく学び舎であることを信じてやみません。

我が誇り、岡工に益々の繁栄あれ！



電気科 日名智之  
(平成20年3月卒業)

卒業してから6年が経ち、今でも高校時代の思い出を振り返ると懐かしく、また凄く楽しかったなと思う反面、あの頃に戻れたらな〜という寂しい気持ちもあります。私の頃の電気科は1クラスでした。3年間ずっと一緒にいたクラスメート達と必死になりながら練習した体育祭や、放課後遅くまで残りながら準備した岡工祭は、思い出の中でも特に輝いて残っています。でも、今回はあえてそう思った思い出ではなく、3年間いつも私達生徒を支えてくれた担任の先生について書こうと思います。私の担任の先生は私が入学した年に岡工に赴任してきま

した。私は当時、あまり先生の言うことを聞く方ではありませんでした。よく遅刻し授業中も寝てばかりと、最低限のこともしないようなダメな生徒でしたので、2年生、3年生と進級するのにもとても苦労しました。そんな私が進級できたのは、本来なら進級もできないんじゃないか、という私を毎日面倒見てくれた先生のおかげなので感謝しかありません。

3年生の就活の時、私は自分が行きたかった会社を受けたのですが、緊張してしまい練習した面接でも力を発揮できず落ちてしまいました。クラスで最初の不合格者でもあり、行きたかった分、凄く落ち込んでいた私に、先生はすぐいくつかの就職先の会社を選んでくれました。落ち込んで就職先も探さず気持ちになれてなかった私の為に選んでくださったのは凄く嬉しかったですし、私を立ち直らせてくれました。在学生の時には先生のそういったありがたみにも気づかなかった私ですが、社会人となった今では感謝の気持ち一杯です。私は高校3年間で何度も先生を裏切るようなことをしましたが、先生は一度も裏切りませんでした。それどころか、いつも厳しく、そして励まして僕を支えてくれました。そんな先生は今まで一番の先生、そしてこれからもずっと私の大切な恩師です。迷惑をかけたばなしだった私も、今では結婚し最愛の娘も生まれ、社会人として必死に仕事に向かっています。そうすることで少しでも先生に恩返しできたらなあと思います。

また、時間が合えば一緒に飲みにもどうでしょうか。



岡工祭

## 岡工の一年

### 今年もやります！車椅子の整備ボランティア

この取り組みは、機械科の専門的な知識や技術を活かす地域貢献として始まり、今年で3年目となります。今年度も公共施設や総合病院等の車椅子の整備を、課題研究の時間を活用して実施しました。



### 本校事務室前展示室 搬入の様子



### 岡山県立美術館で本校所蔵作品が展示されました

岡山県立美術館で開催される「漆工芸家難波仁齋 生誕110周年記念回顧展」に、本校が所蔵する手文庫「薫風」が展示されることになりました。

「漆工芸家難波仁齋 生誕110周年記念回顧展」は6月7日～7月15日まで岡山県立美術館で開催されました。

難波仁齋(本名・仁次郎)氏は、1924年に岡山工芸学校(現岡山工業高校)の塗工科を卒業、1927年から本校の美術工芸科(現デザイン科)の教員として教壇に立たれていました。線刻のかわりに色漆で描く描蒔(かききんま)の技法を確立し、1931年と1936年に帝国美術展(現・日展)で入選、1962年の日本伝統工芸展では、最高賞の日本工芸会総裁賞も受賞されました。岡山県重要無形文化財の認定も受けておられます。



手文庫「薫風」

本校所蔵の難波氏の手文庫「薫風」は、現存する作品のなかでは最古のものとのこと。作品は県立美術館の学芸員の方々により丁寧に梱包され、美術館へと運ば

### テーマは「つながり」

## 奉還町キヤンドルイベント

7月6日(土)、奉還町商店街の土曜夜市の催しの一つとして、キヤンドルイベントが開催されました。本校美術部員がデザインした原画をもとに、買い物客らがキヤンドルアートを制作しました。



### 真夏のボランティヤ

## 2年生が公園遊具のペンキ塗り

8月5日(月)、6日(火)の両日、2年生の有志が、学校近隣の2つの児童公園で、さびた遊具のペンキ塗りをしました。2年生は入学当初から、学年独自の取り組みとして校内の草取りや学校周辺の清掃活動などを行っています。



## 専門科の活躍

### 【機械科】

## 技能検定成績優秀者表彰を受けました

11月13日(水)、コンベックス岡山の国際会議場で技能検定成績優秀者の表彰が行われ、本校からは金賞3名をはじめ、多くの生徒が表彰されました。

金賞 岡山県知事表彰

岡本 健汰(機3) 普通旋盤作業3級

佐々木章彦(機3) フライス盤作業3級

金原 一步(情3) シーケンス制御作業3級



## ものづくりコンテスト(旋盤部門)

県大会で優勝



機械科 岡本 健汰

### 【土木科】

## 中国地区測量技術競技大会

8月13日(火)、気温37℃を超える猛暑

の中、広島県立広島工業高等学校(広島市南区)において、第30回中国地区測量技術競技会が実施され、本校土木科の測量研究同好会から、1年生2チーム(平板測量の部)、2年生1チーム(水準測量の部)が参加しました。



## 伊島小学校で環境学習の

プレゼンをしました

課題研究で伊島小学校の花壇整備に取り組んでいる土木科3年生の(御船班)6人が、10月11日(金)、伊島小学校の5年生を対象に、環境学習についての発表を行いました。



### 【化学工学科】

## ものづくりコンテスト(化学分析)

県大会で優勝

7月20日(土)、ものづくりコンテスト(化学分析部門)岡山県大会が、本校の化学工学科棟で開催されました。大会の課題は、「キレート滴定法により、試料水中のCaおよびMgの定量を行うことによ

り、試料水中の各硬度を求め、指定された測定結果報告書を提出する」というもので、猛暑の中、県内の工業高校6校から参加した12名が、日ごろの練習の成果を競いました。



### 【デザイン科】

## デザイン科所蔵ポスターを

使って授業しました

9月24日(火)、デザイン科1年生の実習で、デザイン科に保管されている歴史的なポスターを使って、ポスターの起源、ポスター表現の過去・現在・未来について学ぶ授業がありました。



授業で使ったのは、昭和23年(1948年)戦後の復興祭ポスター、昭和37年(1962年)の最初の岡山国体のポスター、そして今から49年前、昭和39年(1964年)の東京オリンピックのポスターなどの実物です。

## デザイン科商業ポスター展

7月29日(月)～8月4日(日)、岡山駅構内のさんすて・サンフェスタで、デ

デザイン科3年生が制作した商業ポスターを展示しました。



【建築科】

設計製図競技会で最優秀賞を受賞

平成25年8月16日(金)、東岡山工業高校で第49回岡山県高等学校工業教育協会建築系部会設計製図競技会が行われました。



【情報技術科】【電気科】

ものづくりコンテスト

(電気工部門) 県大会で優勝



5月25日(土)、岡山ポリテクセンターで、「第10回高校生ものづくりコンテスト」の電気工部門と電子回路組立部門が開催されました。本校からは3選手が出場しました。

【電気科】

電氣工事士実技練習

岡工の夏の風物詩



電気科実習棟

ものづくりコンテスト

中国地区大会(電気工部門)

平成25年6月14日(金)、15日(土)に、山口県立青嶺高等学校で「平成25年度第8回 高校生ものづくりコンテスト中国地区大会(電気工部門)」が開催され、本校から電気科3年の廣政貴志君が出場しました。



生徒会長になって学んだこと

デザイン科 3年 上村 遥菜

はないかと思えます。これは生徒会全体の雰囲気よかったです。周りの先生方や生徒のみなさんの支えがあったことによると思えます。たくさんの方々のおかげで感謝しても感謝しきれないほどです。

私はこの一年間、岡工で生徒会長を務めさせていただきました。生徒会長になったきっかけは二年生のとき生徒会副会長を務め、一年間生徒会の仕事を体験した結果、自分が次の年の岡工をひっぱっていきたくと思ったからです。生徒会の仕事は簡単に言えば学校行事の企画・運営ですが周りの人が分からないような裏の仕事を任せてもらいました。実際に私も生徒会に入るまでは部員がどのような仕事をしているのか知ろうともしませんでした。入って仕事をするようになってからこんなことまでしていたのか、と驚きました。

私が生徒会長をした年には部員も19人になり、これまでの生徒会執行部の中では人数が多い方だったのではないかと思えます。その19人をまとめることが私の役目ですが正直この一年間でまとめることができたかどうかは分かりません。ですが学校行事は確実に成功したと言えるので

後輩の活躍 2013

各科の入賞

- 機械科
第11回全日本高等学校ロボコン大会
平成25年度高校生ものづくりコンテスト
第10回中国地区大会
第10回中国地区大会
第10回中国地区大会

情報技術科

- 情報処理技術者試験(合格者)
基本情報処理技術者試験 3名
ITパスポート試験合格 5名
技能士取得者
2級技能士 10名
3級技能士 20名

部活動成績

- 陸上競技部
岡山県総合体育大会
走高跳 1位(男子)総合3位 梶谷 禎(3年)
走高跳 1位 梶谷 禎(3年)
走高跳 1000M 1位 梶谷 禎(3年)



水泳部

- 第81回日本高等学校水泳競技大会(長崎大会)
男子 2000M 自由形 出場で 中川 淳哉
男子 2000M バタフライ 出場で 原田 匡雄

空手道部

- 平成25年度岡山県高等学校空手道大会(長崎大会)
個人 1回戦敗退 光岡(1年)
個人 2回戦敗退 光岡(1年)

編集後記

関係者多数のご協力をいただき、第55回の会報を無事発刊することができました。寄稿いただきました皆様方には、厚くお礼申し上げます。

ご意見・情報 7700-0013
岡山市北区伊福町4丁目3番92号
工友会事務局
TEL.086-252-5231 FAX.086-252-7130
http://www.okako.okayama-c.ed.jp/